



交通広告・屋外広告の情報サイト
交通広告ナビ
Transit Advertisement Navigation System
☎ 03-5305-4802
<http://www.koutsu-navi.com>

【相鉄線 横浜駅デジタルサイネージ】のご案内です

稼動開始日：2012年5月7日

- 決定優先順での販売となっております。
- お申込みが重複した場合は調整させていただきます。
- お申し込み後のキャンセルは出来ませんのでご了承下さい。
- 電鉄によるクライアント、掲載内容の審査がございます。

お電話でのお問い合わせ・ご相談は

☎ **03-5305-4802**

お問い合わせはこちら

担当 秋葉・村田

相鉄線 横浜駅デジタルサイネージ【料金表】



■稼働開始日:2012年5月7日■

ディスプレイサイズ	面数	放映時間	放映回数	仕様	ロール 【枠数】	掲出期間	広告料金	備考
92インチ×2箇所 (46インチ×4面マルチ) 【W 2,044.1×H 1,152.3】	計4面	5:30~24:00 (18.5時間)	約2600回 (2週間)	15秒	最大6分/1ロール 【16枠】	2週間	¥150,000	※15秒以上の放映も可能です。 ※特殊な放映方法につきましては、ご相談ください。
70インチ×1箇所 【W 1,550×H 872】								
55インチ×1箇所 【W 1,209.6×H 680.4】								

(消費税別途)

※最低露出回数は、緊急時放映・支障を含め上記放映回数の90%稼働とさせていただきます。

※緊急時には、利用者への情報提供を行う為の機器として稼働する場合もございます。

※電鉄によるクライアント、掲載内容の審査がございます。

※音声を出す事は可能ですが、音量につきましては鉄道および媒体社側の判断とさせていただきます。

※相鉄トレインビジョンとのセット販売も可能。素材は流用可能です。ただし、入稿メディアはデジタルサイネージに合わせてください。

ロール構成例



※コンテンツ内容および業務広告の状況によりロール構成は変動いたします。

※放映の順序については、媒体社側で決定いたします。

相鉄線 横浜駅デジタルサイネージ【スケジュール】

放映期間	申込期間	入稿期限
2012年5月7日(月) ～2012年5月20日(日)	2012年4月20日(金)	2012年4月23日(月)
2012年5月21日(月) ～2012年6月3日(日)	2012年5月9日(水)	2012年5月11日(金)
2012年6月4日(月) ～2012年6月17日(日)	2012年5月23日(水)	2012年5月25日(金)
2012年6月18日(月) ～2012年7月1日(日)	2012年6月6日(水)	2012年6月8日(金)
2012年7月2日(月) ～2012年7月15日(日)	2012年6月20日(水)	2012年6月22日(金)
2012年7月16日(月) ～2012年7月29日(日)	2012年7月4日(水)	2012年7月7日(金)
2012年7月30日(月) ～2012年8月12日(日)	2012年7月18日(水)	2012年7月20日(金)

※申込期限は、放映開始日の前々週の水曜日となります。

※入稿期限は、放映開始日の前々週の金曜日となります。

※5月7日～の放映のみ申込と入稿が通常と異なります。

相鉄線 横浜駅デジタルサイネージ【設置イメージ】

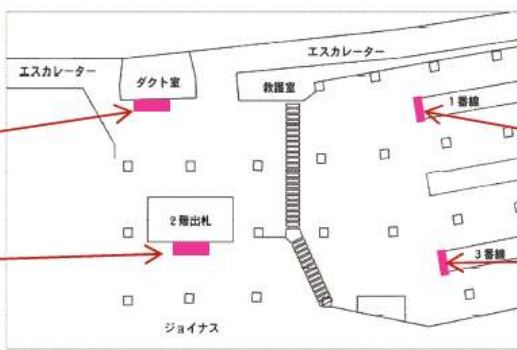


70インチ型
(W1,550 × H872)

D通路側壁面

券売機間壁面

横浜駅2階



46インチ型 × 4
(W2,431.3 × H1,372.9)

1番線ストップ

3番線ストップ

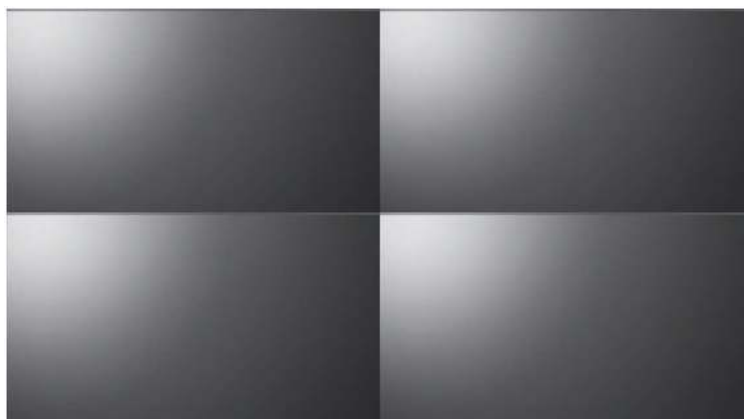


55インチ型
(W1,209.6 × H680.4)



46インチ型 × 4
(W2,431.3 × H1,372.9)

相鉄線 横浜駅デジタルサイネージ【ディスプレイ仕様】



設置場所	1、3番ストップ
サイズ	46型 × 4面
画面寸法(1面)	W1018.3 × H572.5
寸法(4面計)	W2044.1 × H1152.3
輝度	700cd/m ²
視野角	178°
音声	外付スピーカー



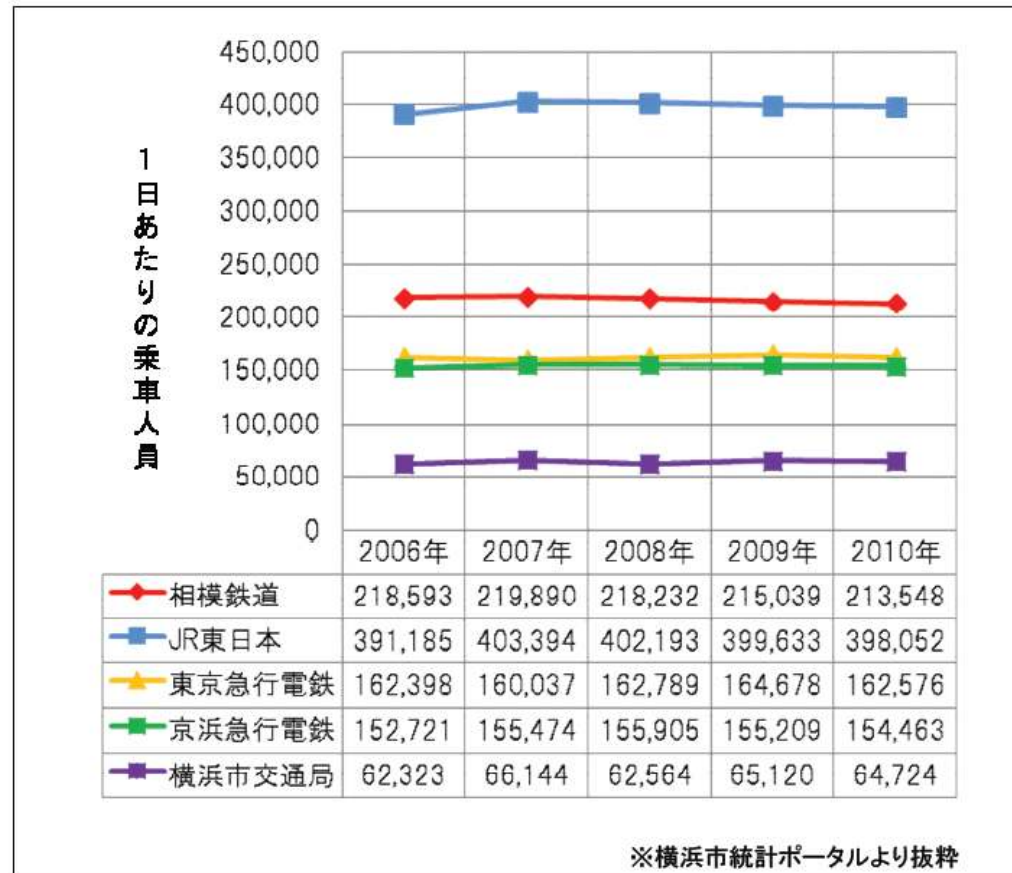
設置場所	D通路壁面
サイズ	70型
寸法(1面)	W1550.0 × H872.0
輝度	600cd/m ²
視野角	178°
音声	内蔵スピーカー(15W × 2)



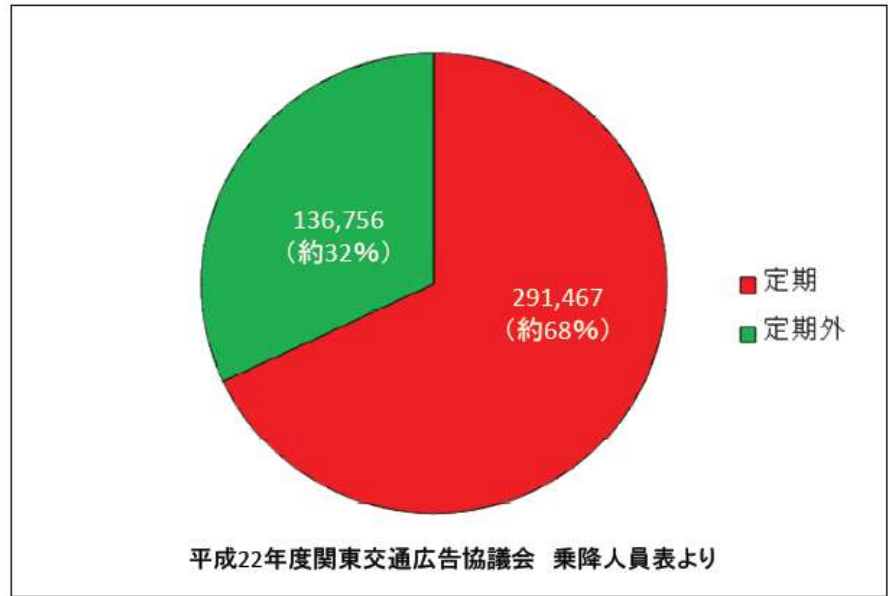
設置場所	券売機壁面
サイズ	55型
寸法(1面)	W1209.6 × H680.4
輝度	700cd/m ²
視野角	178°
音声	内蔵スピーカー(10W × 2)

相鉄線 横浜駅デジタルサイネージ【横浜駅利用客データ】

横浜駅乗り入れ路線乗車人員表



相鉄線横浜駅乗降客比率



注:乗降人員表および乗車人員表の数字の差異につきましては、乗降と乗車のみの違いがあります。

相鉄線 横浜駅デジタルサイネージ【入稿仕様書①】

①表示上の制限

1. サンプリング領域について

モニター画面は、非常に視野角が広く、椅子に着席した状態でも視認可能です。

しかしモニターが、取付パネルよりも奥にとりつけられている為、パネルの陰に隠れる部分が発生します。よって、モニターの表示性能に加えて、これらを考慮したコンテンツの文字配置をご推奨いたします。

2. スクロール表示について

動画コンテンツ再生時において、スクロール表示(斜め、タテ、ヨコ)があるコンテンツでは、一時的にコンテンツ再生がスムーズに流れないフレームが発生する場合がありますため、スクロール表示がないコンテンツの使用を推奨します。

②コンテンツの入稿形式

1. 動画入稿形式

項目	仕様
入稿メディア	・アナログベータカムテープ BETACAM BETACAM SP (BETACAM SPを推奨) ・デジタルベータカムテープ Digital BETACAM ・HDカムテープ HDCAM
フォーマット形式	NTSC方式アナログ・デジタルベータカムテープ (720×480ピクセル/フレーム) NTSC方式HDカムテープ (1920×1080ピクセル/フレーム)
フレームレート	最大29.97フレーム/秒
原稿サイズ	10秒～60秒を推奨、最長120秒 (3フレーム単位で任意に設定可能)
サンプリング領域	ベータカム画像上下左右各2.5%ずつのセーフティ領域が必要 (図1 サンプリング領域を参照)
タイムコード	ノンドロップフレーム 00:00:00 00～23:59:59 29の24時間計を使用 本編は、01:00:00 00から記録する
キューシート	本編のイン点とアウト点、クレジットを明記したキューシートが必要 (図2キューシートを参照)
捨てカット	本編の前後に調整用の捨てカットが必要 (図2キューシートを参照)
動画エンコード時の注意事項	表示処理の制約上、アウト点に10フレーム(0.3秒)を加算し、エンコードする必要があります。

【備考】

(1) MPEG-2規格は、フォーマットとデコードのみ規定しており、エンコード(圧縮)の方法は規定されていない為、メディア編集システム以外で、MPEG-2ファイル形式にエンコードしたコンテンツの表示は、保障しない。メディア編集システムでは、NTSC方式アナログ・デジタルベータカムテープ、HDカムテープで入稿したもののみを本システムでエンコードします。

(注1)

通常、テープにはタイムコードが記録されています。このタイムコードは1秒を1/30に分割してカウントしています。このように秒30フレームで記録されているテープを、ノンドロップ・テープあるいは、フルフレームといいます。

(注2)

本編のトータルタイムは3で割り切れるフレーム数であることが前提であり、それ以外の場合、アウト点を最大2フレーム前後にずらす必要があります。後ろにずらした場合に捨てカットが必要となります。

相鉄線 横浜駅デジタルサイネージ【入稿仕様書②】

③タイムコードについて

ベータカムテープのタイムコード記録方法例として、図2をご参照ください。

- (1)ベータカムテープは、00:00:00 00～23:59:59 29の24時間計を使用。
- (2)本編の記録場所は、01:00:00 00以降とする。
- (3)動画エンコード時は、クレジット部分をサムネイルに設定し、本編をエンコードする。
 なお、フレーム単位の調整には捨てカット部分を使用する。

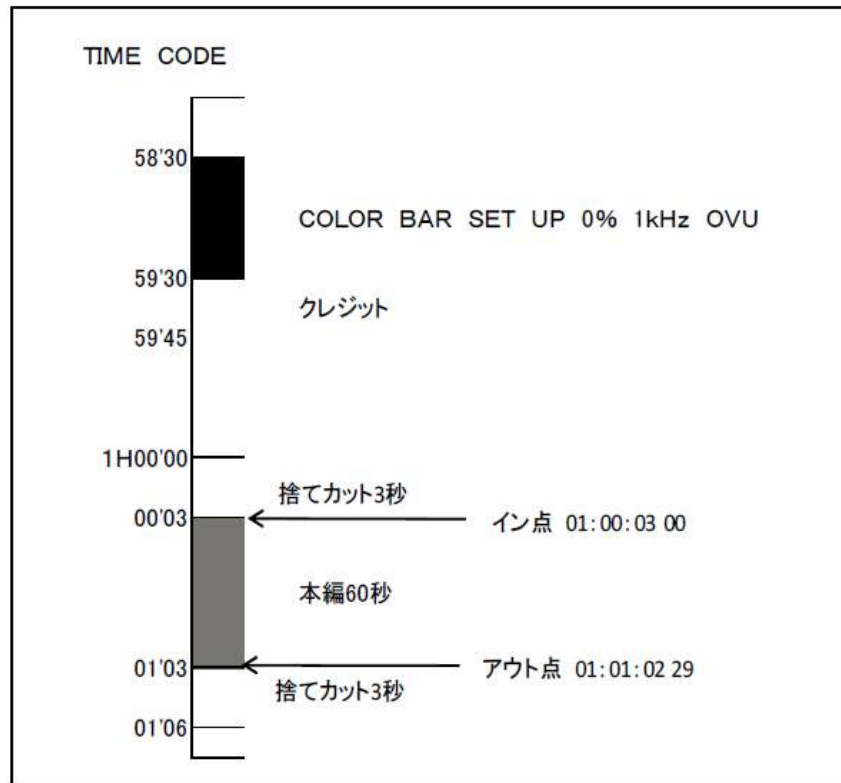


図2 キューシート

④静止画入稿形式

項目	仕様
入稿メディア	CD-R DVD-R
ファイル形式	JPEG形式(注1)(プログレッシブJPEG、YCCカラースキームは除く) BMP形式
色数	8ビット(256色)、24ビットフルカラー(16,777,216色)(注2)
画像原稿サイズ(解像度)	1280×720ピクセル(注3)
ファイルサイズ	JPEGファイル:700KB以下 BMPファイル:2800KB以下(注4)
許可される形式	JPEG:ITG(The inter charge JPEG Group)のライブラリ対応の 通常JPEG形式(プログレッシブJPEGは除く)(注5) BMP:Windows形式非圧縮BMP(注6)
静止画表示時間	10秒～99秒

(注1)

JPEG:Joint Photographic Experts Group。カラー静止画像の符号化方式の標準化を進めているISOとITU-TSの合同組織。およびこの組織が定めた静止画像の圧縮・伸長方式。画像を8×8ピクセルブロックに分割し、DCT(Discrete Cosine Transform、離散コサイン変換)により周波数分布を求め、高周波成分をカットした後、ハフマン圧縮をかける。非可逆圧縮のため、元の画像を再現することはできない。通常JPEGと呼ばれる画像フォーマットは正式にはJFIF(JPEG File interchange Format)。

(注2)

BMPファイルのうち、8ビット(256色)、24ビットフルカラー(16,777,216色)以外は、メディア編集システムで、読み込み不可とする。

(注3)

静止画像原稿サイズが1280×720ピクセル以外は、メディア編集システムで、読込不可とする。

(注4)

静止画1ファイルの容量制限を設け、規定値以外のサイズは、メディア編集システムで読込不可とする。

(注5)

プログレッシブJPEG、YCCカラースキームのJPEGは除く。

(注6)

許可されない形式としては、圧縮形式BMP(Windows、OS2共)、OS/2形式BMPがある。